

町立奥出雲病院 新改革プラン 点検・評価  
(令和2年度)

## 1. 事業報告

### (1) 一般事項について

令和2年度は新型コロナウイルス感染症が全国的に蔓延し、当院においても春先から診療控えが続き患者数の減少に繋がり、病院の経営にも大きな影響がありました。このような状況のなか、11月に病棟再編を行い一般病棟98床、介護医療院の定員を50人とし、新たに運営を開始しました。

喫緊の課題でありました常勤医師の確保につきましては、7月より外科医1名に着任いただき、外来や入院、更には救急や手術など町民の皆様に安心して受診いただける体制が整いました。分娩については、これまで30年間に亘り友塚医師にお世話になっておりましたが、産科医の複数体制や医師の働き方の問題などから、2月をもって休止とさせていただきます。

### (2) 外来・入院患者数の動向

外来患者数は1日平均137.3人、年間延患者数33,358人で前年度比較2,540人の減少(対前年度比92.9%)、入院患者数は1日平均100.7人(病床利用率74.5%)、年間延患者数36,741人で前年度比較877人の増加(同102.4%)となりました。

入院患者数は若干増加したものの、外来患者数は減少となりました。

### (3) 収益的収支

本年度の総事業収益は2,000,913千円で前年度比較8,230千円の減収(対前年度比99.6%)、収益構成は、医業収益(介護医療院事業収益を含む)が1,582,191千円(同109.9%)、医業外収益が418,722千円(同73.5%)となりました。医業外収益は前年度から比較すると大きく減少しましたが、これは前年度には産科及び小児科医療確保のため追加繰入があった為で、その他はほぼ平均並みでした。一方、総事業費用は1,967,878千円で、前年度比較51,030千円増加(対前年度102.7%)しました。

内訳は医業費用(介護医療院事業費用を含む)が1,880,080千円(同102.6%)、医業外費用(介護医療院事業費用を含む)が87,798千円(同104.8%)となりました。医業費用の主なものは、給与費が1,252,522千円、材料費が177,371千円、経費が273,095千円、減価償却費が175,311千円でした。

以上より、営業(医業)損失は297,889千円、経常利益は33,035千円、純利益は33,035千円となりました。

### (4) 資本的収支

資本的収入は政府企業債などの起債による借入52,000千円と新型コロナウイルス感染症に対する国・県補助金61,554千円及び一般会計負担177,619千円で合計291,173千円でした。

資本的支出は機械備品購入費90,934千円、建設事業費40,480千円、企業債等償還元金264,492千円で合計395,905千円でした。

資本的収入額が支出額に不足する額104,732千円は、損益勘定留保資金で補填しました。

### (5) 今後の課題について

#### ①経営改善

安定した地域医療を継続して提供するためには、一般会計からの繰出し基準による繰出金で収支の均衡を図る必要があり、常勤医師の確保を優先課題として取り組みます。また令和3年

度の介護報酬改定、4年度の診療報酬改定の内容を精査し、当院の医療情報から収入を分析します。また地域医療連携推進法人の設立に合わせ、機器の有効利用や共同購入などの効率化により経費節減を図ります。

#### ②常勤医師の確保について

7月に1名の常勤医師の着任があったものの、当院の規模からすると更に複数医師の確保が必要です。引き続き大学へ派遣要請を継続的に行い、理解いただくよう努力いたします。また島根県と連携し地域枠医師の当院勤務を積極的に進めるとともに、自治医科大学出身医師の派遣を要請して参ります。

#### ③在宅診療体制の構築について

令和3年度から訪問看護ステーションが町から移管され、病院で管理運営することとなります。これまでの運用を引き継ぎながら、体制の見直しや関係機関と連携を行い、利用しやすいステーションを目指して参ります。合わせて、訪問診療や訪問リハビリ、訪問栄養指導など病院全体で在宅サービスを提供できるよう仕組みづくりを行って参ります。

#### ④新型コロナウイルス感染症対策

新型コロナウイルス感染症対策について当院の果たす役割は大きく、積極的に取り組んで参ります。ワクチン集団接種については医師・看護師を派遣し、安全かつ早期に接種が完了できるよう協力します。また個人や関係機関からのPCR検査や抗原定量検査の依頼については、迅速に検査を実施し、スムーズに診断できるよう体制を整えて参ります。今後、国や県が示す新たな新型コロナウイルス対策にも柔軟に対応できるよう準備して参ります。

## 2. 数値目標

### (1) 医療機能・品質等指標に係る数値目標

項目	年度	令和元年度 実績	令和2年度			摘要
			目標 ①	実績 ②	差 ②-①	
研修医受入件数		5 件	5 件	4 件	△ 1 件	
在宅復帰率（包括）		79.2 %	85.0 %	81.3 %	△ 3.8 %	
平均在院日数		19.7 日	18.0 日	19.1 日	1.1 日	
分娩件数		44 件	82 件	35 件	△ 47 件	
褥瘡発生率		0.50 %	0.90 %	0.50 %	△ 0.4 %	
転倒・転落発生率		3.25 ‰	3.10 ‰	3.47 ‰	0.37 ‰	
医療相談（MSW）		2,652 件	2,550 件	2,874 件	324 件	
定期カンファレンス（リハ関係）		36 回	36 回	78 回	42 回	

### (2) 経営指標に係る数値目標

項目	年度	令和元年度 実績	令和2年度			摘要
			目標 ①	実績 ②	差 ②-①	
<b>① 収支改善に係るもの</b>						
経常収支比率		104.8 %	107.1 %	101.7 %	△ 5.4 %	
医業収支比率		78.5 %	88.5 %	84.2 %	△ 4.3 %	
医業未収金		1,612 千円	3,300 千円	2,288 千円	△ 1,012 千円	
<b>② 経費削減に係るもの</b>						
給与費対医業収益比率		84.0 %	71.9 %	79.2 %	7.3 %	
材料費対医業収益比率（薬品含む）		11.8 %	14.4 %	11.2 %	△ 3.2 %	
委託費対医業収益比率		9.0 %	7.0 %	9.3 %	2.3 %	
後発品使用割合		89.0 %	70.0 %	90.7 %	20.7 %	
薬品在庫の適正化		4,476 千円	4,600 千円	4,903 千円	303 千円	
検査試薬等納入価		1.7 %減	3.0 %減	3.8 %増	0.8 %減	H29よりH27実績の3%減を目標
<b>③ 収入確保に係るもの</b>						
入院患者数		35,864 人	43,528 人	36,741 人	△ 6,787 人	
入院患者数（1日あたり）		98.0 人	119.3 人	100.7 人	△ 18.6 人	
病床利用率		75.7 %	85.2 %	74.5 %	△ 10.7 %	
外来患者数		35,898 人	38,754 人	33,358 人	△ 5,396 人	
外来患者数（1日あたり）		149.6 人	159.5 人	137.3 人	△ 22.2 人	
薬剤管理指導件数		1 件	240 件	631 件	391 件	
外来心電図件数		1,010 件	940 件	911 件	△ 29 件	
エコー件数		272 件	342 件	287 件	△ 55 件	
入院リハ処方数		33 件/月	30 件/月	32 件/月	2 件/月	
訪問リハ単位数		271 /月	250 /月	281 /月	31 /月	
栄養指導件数		1,350 件	860 件	1,284 件	424 件	
ドック・健診件数		2,467 件	2,375 件	2,458 件	83 件	
<b>④ 経営の安定性に係るもの</b>						
常勤医師数		5 人	7 人	6 人	△ 1 人	
企業債残高		2,571 百万	2,194 百万	2,359 百万	165 百万	

### 3. 目標達成に向けた具体的な取り組みの実施状況

項目	取組・目標	実施状況の点検結果	評価所見
1. 地域医療構想を踏まえた役割の明確化	<ul style="list-style-type: none"> <li>①入院及び外来医療の提供</li> <li>②在宅系サービスの提供（訪問リハビリ・訪問診療）</li> <li>③ドック・健診等の提供</li> <li>④医療・介護・福祉の連携支援（中心的役割）</li> <li>⑤医療情報・医療技術等の教育活動</li> </ul>	①～⑤実施できている	概ね目標通りに実施されている。
2. 経営の効率化	(1) 収支改善に係るもの ①未収金対策	目標3,300千円に対し2,288千円	目標達成に向け、未収金対応に取り組んだ。
	(2) 経費削減に係るもの ①材料費節減 ②薬剤費（在庫）の削減 ③委託料見直し ④光熱費の節減 ⑤消耗品費等の削減	<ul style="list-style-type: none"> <li>①診療材料検討委員会を中心に継続的に行っている。</li> <li>②製薬業界の影響を受け在庫が増え、前年度より増額となった</li> <li>③委託料及び委託業務の見直しを継続的に行った。</li> <li>④灯油の毎月見積入札等経費節減対策に努めた。</li> <li>⑤破損・修理・購入等稟議厳格化による経費節減意識の定着を継続的に行った。</li> </ul>	概ね目標通りに実施されている。
	(3) 収支確保に係るもの ①10:1看護基準の堅持と新たな施設基準の取得 ②指導及び検査件数の増加 ③高次病院及び診療所（開業医）等との紹介・逆紹介の推進  ④ドック・健診実施件数の維持等	<ul style="list-style-type: none"> <li>①10:1の看護基準を維持した。</li> <li>②前年度並みであったが、薬剤指導は大幅に増加した。</li> <li>③紹介逆紹介等について他院との連携をすすめた。ドクターヘリの活用を行った。</li> <li>④目標とする件数を達成でき、前年度並みであった。</li> </ul>	概ね目標通りに実施されている。 ①看護基準については体制維持に努めた。
	(4) 経営の安定性に係るもの ①経営会議の定例開催実施 ②管理運営会議での活発な意見交換 ③職員の適正配置等 ④栄養科の業務委託 ⑤中・高校生の職場体験受入れ ⑥奨学金貸与制度を活用した免許職の確保 ⑦病院祭等による地域確保（病院理解） ⑧外来待ち時間調査 ⑨患者満足度調査 ⑩その他 ・各種会議・委員会の設置 ・院内研修会・講習会の実施 ・院外研修会等への積極的参加 ・学会等での発表	<ul style="list-style-type: none"> <li>①定期的に開催し、経営について議論した。</li> <li>②毎月開催され、活発な意見交換をした。</li> <li>③適正な配置に努めている。</li> <li>④給食調理業務委託を行っている。</li> <li>⑤地元の学校を中心に受入れを行った。</li> <li>⑥奨学金貸与中 2名 令和2年度で終了。</li> <li>⑦広報や有線放送等で積極的に情報提供を行った。</li> <li>⑧療養環境改善委員会にて実施した。</li> <li>⑨退院時に実施している。</li> <li>⑩目標通り実施できている。</li> </ul>	概ね目標通りに実施されている。
3. 再編・ネットワーク化	(1) 再編についての検討 現段階では再編を行う状況に無いと結論	-	※評価対象外
	(2) ネットワーク化についての検討 ①しまね医療情報ネットワーク等医療ICTを活用しながら今後の連携・ネットワークの構築に努める ②近隣病院との情報共有・連携強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>①しまね医療情報ネットワークへの接続を継続。</li> <li>②全自病巣支部各部門会議等による情報共有を行った。また、県内医療機関との連携強化を進めている。</li> </ul>	概ね計画通りに実施されている。
4. 経営形態の見直し	<ul style="list-style-type: none"> <li>①病床数削減</li> <li>②介護療養型病床の廃止（H29年度末）</li> </ul> 経営については当面現在の経営形態を続行する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>①令和2年11月に病床数を126床から98床に削減した。</li> <li>②令和2年10月をもって廃止とし、介護医療院へ転換した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①は計画通り実施している。</li> <li>②病床削減とともに廃止した。</li> </ul>

4. 収支計画の実施状況

(1) 収支計画（収益的収支）

(単位:千円)

区分	年度	令和元年度 実績 (参考)	令和2年度		差 ②-①
			目標 ①	実績 ②	
収 入	1. 医 業 収 益 a	1,439,700	1,696,831	1,582,191	△ 114,640
	(1) 料 金 収 入	1,216,968	1,486,669	1,148,178	△ 338,491
	(2) そ の 他	222,732	210,162	434,013	223,851
	うち 他 会 計 負 担 金	97,829	79,794	232,654	152,860
	2. 医 業 外 収 益	569,443	449,944	418,722	△ 31,222
	(1) 他 会 計 負 担 金・補 助 金	425,768	417,323	265,625	△ 151,698
	(2) 国 ( 県 ) 補 助 金	0	0	1,006	1,006
	(3) 長 期 前 受 金 戻 入	138,049	25,433	146,957	121,524
	(4) そ の 他	5,626	7,188	6,140	△ 1,048
	経 常 収 益 (A)	2,009,143	2,146,775	2,000,913	△ 145,862
支 出	1. 医 業 費 用 b	1,833,098	1,918,030	1,880,081	△ 37,949
	(1) 職 員 給 与 費 c	1,208,841	1,220,630	1,252,522	31,892
	(2) 材 料 費	169,865	243,665	177,371	△ 66,294
	(3) 経 費	272,217	263,951	273,095	9,144
	(4) 減 価 償 却 費	163,972	180,282	175,311	△ 4,971
	(5) そ の 他	18,203	9,502	1,782	△ 7,720
	2. 医 業 外 費 用	83,750	86,272	87,797	1,525
	(1) 支 払 利 息	45,400	40,658	40,761	103
	(2) そ の 他	38,350	45,614	47,036	1,422
	経 常 費 用 (B)	1,916,848	2,004,302	1,967,878	△ 36,424
経 常 損 益 (A)-(B) (C)	92,295	142,473	33,035	△ 109,438	
特 別 損 益	1. 特 別 利 益 (D)	0	0	0	0
	2. 特 別 損 失 (E)	0	0	0	0
	特 別 損 益 (D)-(E) (F)	0	0	0	0
純 損 益 (C)+(F)	92,295	142,473	33,035	△ 109,438	
累 積 欠 損 金 (G)	1,436,987	1,294,514	1,403,952	109,438	
不 良 債 務	流 動 資 産 (ア)	296,867	497,062	249,039	△ 248,023
	流 動 負 債 (イ)	383,428	445,254	444,804	△ 450
	うち 一 時 借 入 金	0	0	0	0
	翌 年 度 繰 越 財 源 (ウ)	0	0	0	0
	当 年 度 同 意 等 債 で 未 借 入 又 は 未 発 行 の 額 (エ)	0	0	0	0
	差 引 不 良 債 務 (オ) [(イ)-(エ)] -[(ア)-(ウ)]	86,561	△ 51,808	195,765	247,573
経 常 収 支 比 率 $\frac{(A)}{(B)} \times 100$	104.8	107.1	101.7	△ 5.4	
不 良 債 務 比 率 $\frac{(オ)}{a} \times 100$	6.0	△ 3.1	12.4	15.4	
医 業 収 支 比 率 $\frac{a}{b} \times 100$	78.5	88.5	84.2	△ 4.3	
職 員 給 与 費 対 医 業 収 益 比 率 $\frac{c}{a} \times 100$	84.0	71.9	79.2	7.2	
地 方 財 政 法 施 行 令 第 15 条 第 1 項 に よ り 算 定 し た 資 金 の 不 足 額 (H)	86,561	△ 51,808	195,765	247,573	
資 金 不 足 比 率 $\frac{(H)}{a} \times 100$	6.0	△ 3.1	12.4	15.4	
病 床 利 用 率	77.3%	85.2%	74.5%	-10.7%	

## (2) 収支計画(資本的収支)

区分	年度	令和元年度 実績 (参考)	令和2年度		差 ②-①
			目標 ①	実績 ②	
収 入	1. 企業債	248,900	119,000	52,000	△ 67,000
	2. 他会計出資金	0	0	0	0
	3. 他会計負担金	169,540	0	177,619	177,619
	4. 他会計借入金	0	0	0	0
	5. 他会計補助金	0	0	0	0
	6. 国(県)補助金	49,075	10,000	61,554	51,554
	7. その他	0	0	0	0
	収入計 (a)	467,515	129,000	291,173	162,173
	うち翌年度へ繰り越される 支出の財源充当額 (b)	0	0	0	0
	前年度許可債で当年度借入分 (c)	0	0	0	0
純計(a)-(b)+(c) (A)	467,515	129,000	291,173	162,173	
支 出	1. 建設改良費	258,026	129,000	131,414	2,414
	2. 企業債償還金	263,387	280,062	264,491	△ 15,571
	3. 他会計長期借入金返還金	0	0	0	0
	4. その他	0	0	0	0
	支出計 (B)	521,413	409,062	395,905	△ 13,157
差引不足額 (B)-(A) (C)	53,898	280,062	104,732	△ 175,330	
補 て ん 財 源	1. 損益勘定留保資金	53,898	280,062	104,732	△ 175,330
	2. 利益剰余金処分量	0	0	0	0
	3. 繰越工事資金	0	0	0	0
	4. その他	0	0	0	0
	計 (D)	53,898	280,062	104,732	△ 175,330
補てん財源不足額 (C)-(D) (E)	0	0	0	0	
当年度同意等債で未借入 又は未発行の額 (F)	0	0	0	0	
実質財源不足額 (E)-(F)	0	0	0	0	

1. 複数の病院を有する事業にあつては、合計表のほか、別途、病院ごとの計画を作成すること。

2. 金額の単位は適宜変更することも可能。(例)千円単位。

⇒注釈を適用し、単位を「千円」とした。

## 3. 一般会計等からの繰入金の見通し

	令和元年度 実績 (参考)	令和2年度		差 ②-①
		目標 ①	実績 ②	
収益的収支	( 227,005)	( 30,423)	( 354)	△ 30,069
	523,597	497,117	500,922	3,805
資本的収支	( 0)	( 0)	( 0)	0
	169,540	0	177,619	177,619
合計	( 227,005)	( 30,423)	( 354)	△ 30,069
	693,137	497,117	678,541	181,424